

平成18年度の独自目標決定！！

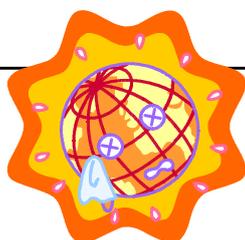
平成18年7月20日に目標設定委員会が行われました。平成17年度の達成状況の報告と平成18年度の独自目標値について、協議されました。

平成17年度独自目標達成状況については下記のとおりです。

平成17年度 独自目標達成状況一覧							
		基準年度実績		H17実績		削減率	評価
D101	温室効果ガスH16比較5%減	3,374	t-CO2	3,211	t-CO2	4.8	×
D102	電気使用量H16比較6%減	2,314	Mwh	2,185	Mwh	5.5	×
D103	容器資源リサイクル率100%	-	%	100	%	-	
D104	廃棄物排出量H16比較5%減	539	kg	363	kg	32.7	
D105	公用車使用燃料H15比較2%減	40,212	リットル	40,165	リットル	0.1	×
D106	LAS-E関係職員研修年3回以上	-	回	全体研修 1(3月2日)生涯学習 講座 各課研修0 環境ジャー 研修 2	回	-	
D107	環境ニュース年6回以上発行	-		0回	回	-	×
各課、可燃・不燃ごみ排出時、ビル管職員による確認。(容器、プラが入ってる場合は回収されない。)							

D101、D102、D105、D107については、達成する事が出来ませんでした。

温室効果ガス削減率							
燃料種別		固有単位		CO2排出量(kg-CO2)		削減率	差
		H16年度	H17年度	H16年度	H17年度		
電気	kWh	2,313,805	2,184,656	874,618	825,800	5.6	129,149
LPG	立法メートル	2,556	2,416	3,704	3,501	5.5	140
灯油	リットル	174,750	162,951	435,128	405,748	6.8	11,799
A重油	リットル	404,000	370,000	1,094,840	1,002,700	8.4	
ガソリン	リットル	397,624	404,847	922,489	939,245	-1.8	
軽油	リットル	16,468	13,082	43,145	34,275	20.6	
合計		-		3,373,924	3,211,269	4.8	
原油換算	リットル			1,280,038	1,218,328	1.8	61,710
家計調査2000年北海道4人世帯平均値							
電気	4,776 kWh		27	世帯分			
LPG	142 立法メートル		1	世帯分			
灯油	1,166 リットル		10	世帯分			



温室効果ガスを原油に置き換えて計算すると、61,710リットルの削減で役場公用車年間燃料の1年半に相当する量になります。

平成17年度、役場が削減した数値を北海道に住む4人家族世帯の平均値で比較すると電気使用量は、27世帯分の年間使用量を削減したことになります。

LPGについては、1世帯分の年間使用量を削減。

灯油については、10世帯分の年間使用量を削減したことになります。



平成18年度独自目標値は下記のとおりです。

平成18年度 独自目標					
		基準年度実績		目標値	
D101	温室効果ガスH16比較 5%減	3,374	t-CO2	3,172	t-CO2
D102	電気使用量H16比較 6%減	2,314	Mwh	2,175	Mwh
D103	ノー・マイカー・デー月1回実施率50%	-		50	%
D104	廃棄物排出量H16比較 6%減	539	kg	506	kg
D105	公用車使用燃料H15比較 2%減	40,212	リットル	39,408	リットル
D106	水道使用量H16年度 現状維持	45,469	立方メートル	45,469	立方メートル
D107	LAS-E関係職員研修年 2回以上	-	回	全体研修 1	回
				実行責任者・環境アドバイザー研修 1	回
D108	各課LAS-E取組内容の確認	-	回	月1回	回
D109	環境ニュース年 3回以上発行	0	回	3	回

数値の決定理由は次のとおりです。

平成17年度が徹底した取組が為されていないことから、平成18年度もD101、D102、D104、D105、については平成16年度の数値を基準に取組を行います。

D103の容器リサイクル率100%を削除し、ノー・マイカー・デーの実施率を50%に変更します。

リサイクル率100%を削除した理由として、管理会社のごみ収集時に必ず確認し、資源ごみなどが入っている場合は収集してもらえないためです。

D106を追加し、水道の使用水量を平成16年度の数値以上にならないよう節水に心がけます。

D107の各課研修を削除し職員研修を2回にします。

D108を追加し各課でLAS-Eの取組などについて確認、意識の統一を行う項目を追加します。

D109の環境ニュースについては、前年が1回も発行していないため、18年度は最低3回以上発行を目標に回数の変更をします。

この数値を達成させるために、平成18年度は取り組んで行くことになります。

今後の予定として、内部監査（職員間で取組のチェック）を行い、外部監査を11月7～8日で行います。その後12月に判定委員会が行われ、土幌町の取組が環境自治体会議環境政策研究所により判定されます。